

KSK

発行 KSK 神奈川県障害者定期刊行物協会
〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752番地
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3F 横浜市車椅子の会内

あゆみ会報

編集 湘南あゆみ会
〒254-0807 平塚市代官町21-4 SEA平塚ビル3F フレンズ湘南内
TEL/FAX 0463-24-0420

2023年7月号第191号

報告

6月定例会

映画「どんぐりの家」上映

6月18日（日）平塚市美術館ミュージアムホールにおいて、アニメーション映画「どんぐりの家」を上映しました。

この映画は1997年の作品で、実在するろう重複障がい者のための共同作業所をモデルに取り組んだ、感動のヒューマン・ホームドラマです。

聴覚障がいに加え知的障がいや精神障がいを併せ持つ、重いハンディを背負った子ども達の成長を願い、苦しみながらも歩いていく両親や家族、それを支える人々のひたむきな姿—そこに流れるヒューマニズムと協同の精神は、現代社会の人間の生き方、子育てや教育のあり方を見つめ直し、福祉の原点を問いかけるものです。

湘南あゆみ会では、平塚市また平塚市障がい者団体の後援を得て、平塚市広報への掲載、各公民館、様々な団体へのチラシ配布等の結果、予想を上回る入場者があり、成功裡に終える事が出来ました。またアンケートには殆どの方が感想を記入して下さいました。

以下アンケート集計結果を報告します。

映画「どんぐりの家」上映会のアンケート集計

1. 今回の「どんぐりの家」上映会をなにで知りましたか？

情報	A: あゆみ会報	B: 市の広報	C: ポスター・チラシ	D: 知合、友達、家族	E: その他	総計
来場者数	12名	6名	24名	26名	6名	74名

2. ご年齢を教えてください。

年齢	A: ~10代	B: 20代	C: 30代	D: 40代	E: 50代	F: 60代	G: 70代	H: 80代	総計
来場者数	2名	1名	3名	9名	9名	17名	26名	7名	74名

3. どちらから来られましたか？

在住	A: 平塚市	B: 大磯町	C: 二宮町	D: 秦野市	D: 小田原市	D: 伊勢原市	D: 藤沢市	D: 川崎市	E: 県外	総計
来場者数	62名	0名	4名	4名	2名	2名	1名	1名	0名	76名

4. 映画「どんぐりの家」はいかがでしたか？

評価	A: 大変良かった	B: 良かった	未回答	総計
来場者数	60名	11名	3名	74名

5. ご感想をお聞かせください。

- “愛”を感じました。
- 「どんぐりの家」娘にも行ける場所、過ごせる場所、親亡き後安心して生きていける所があればと思います。
- 「どんぐりの家」のアニメーションが作成されたことが、何かの雑誌に連載されると報道されたことを、30年位前だろうか思い出しました。アニメに興味がなかったので、読むことなくここまで来たのですが、今日映画を見てこんなに感動的だったのだと知り、良い機会を与えていただきありがとうございました。とても良い映画でした。
- 「心が痛かった」、この一言です。
- 作業所の実態など知る機会があるといいなと思いました。
- あきらめないで、子供を信じる事の大切さがわかった。
- 良い映画でした。とても感動しました。(4人)
- 生きていく力を新しくいただきました。
- 人々が助け合っていくことの大切さを新たに心から感じています。
- 以前まんがで読んだことがあったので、映画でも見ることが出来て良かったです。
- 健常者にとってはあたりまえな事が、障がい者に

とっては非常に大変な事が分かり、改めて今を大事にしなければいけないと感じました。これから少しでもできる事をやろうとつくづく思いました。

- 心にしみこんでくる映画でした。涙が止まりませんでした。本当に心のこもった映画を観賞させていただき、勇気をいただきました。
- 子どもも障がいをもっているの、親の気持、子供の気持が痛いほど分かり、重なる分があった。みんな違ってみんないいと思いました。
- この映画の内容を知る機会が、成人になる前に必要であると思いました。きれい事と現実の理解の深さが、人によって違いすぎると思います。
- このような映画は初めてみました。親の気持、家族の気持がよく分かりました。障がいのある方への世の中の偏見がなくなり居場所が増える事を願います。
- コミック5巻以前購入し、感動して読んでいたので、これからもまた大切に、読み続け忘れないようにしたいです。
- 子を理解しようがんばっている姿に感動しました。私も昔、似た所（言葉の訓練に苦労しました）もあったなあと思いました。
- 作業所の前をよく通ります。大変なご苦労の末の良い結果です。前を通るたびにこの映画を思い出し、大変なご苦労をねぎらいたいです。
- 時間が長すぎて少々疲れた。
- 重複障がいがあっても社会に出ようとする心がよかった。
- “就労移行支援事業所で障がい者の就職を支援する活動を行っています。障がいの種類や程度は異なりますが、今後の活動を行っていく上でお力をいただきました。
- 手話サークル「平の会」で紹介して頂き、観に来ることができました。観れて良かった、感動しました。友人・知人にも観せたいと思いました。
- 障がい者への支援が必要であることを、行政等に

もっと PR して欲しいと常日頃思っていました！人間は生まれてきた以上、誰でも幸せになる権利があるという、当たり前社会になって欲しいと願いました。

- 小学生、中学生…若い方に見てほしいですね。
- 我が身に照らし合わせまったく同じ体験をしています。”
- そんなに昔の話ではない事に驚いた。障がいがあってもなくても暮らしやすい世の中になればいいと感じました。
- 自分の事のように、いろいろ考えさせられました。生きる、という事は希望だと言うことがひしひしと伝わってきました。
- たくさんの方々の協力があって、行動できる力が湧くものと感じました。
- 中3、高3の三人の娘を持つ母です。夫は単身赴任中で、同居の義父の世話と子育てを一人でやっています。自分一人で抱え込まない様、ママ友や、手話サークルの人生の先輩方に色々、相談しています。話す事で、色んな事が見えてくるので家の外に出て、人とコミュニケーションを取る事が必要だと思いました。手話の勉強をもっとしたいと思った。
- 聴覚障がいのある人にも愛をもって忍耐で接すれば必ず心と心のきずなができるという、すばらしいことに気付かされました。
- 当事者にしかわからない苦悩が描かれており、辛さ、苦しみと同時に、心が通じ合えた時（親子、家族、仲間…）感動しました。上映会を開いてくださりありがとうございます。現代の社会が施設よりグループホーム…の傾向にあるならば、もっと重い人も受け入れてくれるグループホームが増えるとよいと思います。
- 登場人物の皆さんが本音を語ってくれて、とても勉強になりました。みんな幸せになれるように一人一人が、感謝して生きていく事が大切だと思い

ました。そして継続の大切さを学びました。

- この映画を多くの方々に観てほしいと思いました。小学生ぐらいから理解できる内容だと思います。
- 障がい者をかかえて苦しい生活でも、小さな喜びから多くの人をまき込み大きな幸せにつなげた人々の優しさはすてきです！！
- 最初は見ていて辛いくらいでした。でも、だんだんとみんなが変わっていく様子がとても素晴らしくて感動しました。やはりどの障がいも、理解する、知識を得ることが大事だと思います。希望の持てる話でした。家に帰ったら、ASDの子どもとちゃんと向き合おうと改めて思いました。
- とても良かったのでまた上映してほしいです。その際はもっと地域の商店、スーパー、学校等の方にもみてほしいと思いました。
- 泣けた。
- 何か力になりたい！！ と強く思いました。
- 何度でも観たいし、まわりの人にも観せたい。また上映してください。精神障がいをもつ自分の目から涙がとまらなかった。
- 日本中の団体等の共同で出来上がった映画。一般の人にも理解と感動を与えてくれた。施設を増やす為に、全国で上映し、少額の入場料も援助になると思います。
- 人と人のつながりを考えさせられた。たくさんの団体は力強い、
- 普通に出来る事が、こんなに大変な事だと改めて知りました。
- ぼくも同じろうあ者です。感想がよかった。
- また手話の映画を見たいです。
- 本当にそうです。皆、幸せになる権利があるんです。皆笑顔をもっているんです。お互いに思いやり協力しあう人と人とのつながりが大切ですね。
- 観に来られて良かった。心があたたかくなりました。元気ももらえました。
- 何度でも見たいし、いろいろな人に見てもらえた

ら社会が変わるのでは？と希望がもてる映画だと思いました。

- 昔コミックを読む機会がありましたが、辛くて読めずずっと宿題のように小さく残っていました。今回見ることができ、今の仕事への一つの目標や、続ける勇気ももらったようです。
- 目からうろこの様な内容で、勉強になりました。
- よくぞどんぐりの家を立ち上げた事。
- 並々ならぬ努力、継続力に感動しました。耳、身体、涙あり、笑顔あり勇気づけられました。
- 話しあう、わかりあう、そして感謝する。そして伝えあうため心と心で手をつなぐこと。大切な事沢山学びました。学んだこと少しでも出来ること行動に移したい。いい映画をありがとうございました。”
- ろう、知的障がいの人たちは、本当に大変だと思いました。皆が自分らしく何かできる場所「どんぐりの家」のような所は大切です。しあわせになりたいと思います。
- ろう学校の同級生、先輩、後輩を思い出しました。
- 親は強いと思いました。
- ろう重複障がいのある子供を育てるということが、こんなに大変だと知らなかったのも、とてもショックを受けました。必死にコミュニケーション方法を身につけても、どんぐりの家の様な作業所がない地域の子供達はどうになってしまうのだろうと思いました。神奈川県にはどの様な施設があるのか調べてみようと思います。
- わかりやすく良かった。 たくさんの人に見てほしいと思います。 当事者の現実が、どんなものかも理解できた。マンガで良かった。
- 私の息子もろう重複の高2で、小学校の時から神奈川県内でろうの作業所を切望していましたが、簡単ではないと実感しました。重複の幼稚部から通っていますが、今は積極的に手話を取り入れているのであのようにあばれる子は見たことがあります

ませんが、コミュニケーションは大切だと改めて
思いました。

- 障がい者を取り巻く環境を考えています。
- 一人一人の命と人権が尊重される社会づくりに取り
組んでこられた方々の行動力、頭が下がる思いです。

6. あゆみ会へのご質問、ご相談、なんでもお聞かせく
ださい。

- 25年程前に、世田谷上映会で初めて見ました。ど
んぐりの家のお話を通して、様々な苦勞を乗り越
えて生活している人がいることを痛感します。
自分は現在、障がい児相談支援に携わっているの
で、平日は活動できませんが、スポット的にも
何かお手伝いできることがあれば、貢献して行き
たいと思います。
- 家族学習会にも参加してみたいと思っています。
よろしく願いいたします。
- これからもこの様な機会をつくって下さい。いつ
も本当にありがとうございます。
- 手話サークル会に入りたいです。
- 障がい者のグループホームで働いています。今後
も色々な活動に参加できればと考えています。
- 湘南あゆみ会というものを、初めて知りました。
ご活動をお祈りします。
- 当時者同士がもっと話せる機会を作ってほしい。
親だけではなく、近くの地域で当時者が、ひとり
じゃないんだってことをもっと知ってほしい。



これからの予定・行事など

◆じんかれん研修会 講演

8月1日（火）10時～12時
かながわ県民センター304会議室
横浜駅西口 徒歩5分

「精神障害のあるなしにかかわらず

平等な社会を作るために」

講師 東京アドヴォカシー法律事務所 所長

弁護士 池原 毅和（ヨシズ）氏

池原毅和氏は精神障がい者の権利擁護のために
全国的に活躍している弁護士です。

*詳細はチラシを参照ください。

◆ 第15回全国精神保健福祉家族大会

みんなねっと 埼玉大会

家族任せにしない社会に

日時 10月14日（土）～ 15日（日）

会場 レイブックホール（市民会館おおみや）

全体会 10月14日 10:00～16:00

当日オンライン配信あり

分科会 10月15日 10:00～12:00

*申し込み等詳細はチラシを参照ください。

◆ 平塚市福祉会館まつり

10月20日（金）～ 21日（土）

今年も作品展示部門・販売部門に参加します。

詳細は決まり次第お知らせします。

★精神保健ボランティアグループ

こんぺいとう のお知らせ

7月15日（土）13:30～ 定例会 福祉会館第3会議室

7月22日（土）11:00～14:30 サロン 福祉会館和室

参加費 200円

8月12日（土）13:30～ お茶会 中央公民館和室

参加費 100円

8月19日（土）13:30～ 定例会 福祉会館第3会議室

サロンあゆみ

7月21日（金）13:00～16:00 心理勉強会

8月18日（金）13:00～15:30 自由交流

ひらつか市民活動センター会議室

猛暑の時期、体調にお気を付け下さい。

